

南花台での地域住民とのワークショップ

南花台〇〇まるまるワークショップ～南花台の未来を考える住民集会

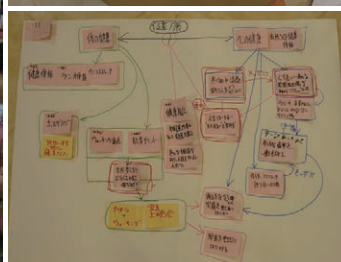
KSP 関西大学
戦略的研究基盤
団地再編
リーフレット
-Re-DANCHI leaflet-

文部科学省 私立大学 戦略的研究基盤形成支援事業
『集合住宅“団地”の再編（再生・更新）手法に関する技術開発研究』

MARCH 2016 VOL.187



南花台での地域住民とのワークショップの様子



■はじめに

「咲っく南花台わくわくプロジェクト（以下、咲っく南花台）」では、事業開始の2014年10月から、地域住民との交流・意見交換を目的としたワークショップ（以下、WS）を開催している。（咲っく南花台はリーフレットVOL.186参照）

■開催の目的

2014年10月に咲っく南花台が始まった際、健康寿命の延伸や健康プログラム、まちの目標像などについて地域住民の意見、ニーズを聞くべきとの考えから、地域住民とのWSを開催することになった。まずは、地域住民のニーズを探ること、それに対応した関係機関のシーズを明確にすることを目的とした。

開催を継続するにつれ、当初の目的に加え、地域住民同士の意見交換・交流の場ともなっている。さらに、市役所や関西大学などの咲っく南花台の関係機関と地域住民との信

頼関係も構築されてきている。

■開催内容

2016年3月までの開催状況を表1に示す。毎月1回の開催を基本とし、16回開催している。当初は「南花台〇〇まるまるワークショップ」としていたが、2015年度の途中から「南花台の未来を考える住民集会」と名称を変更した。これは、「ワークショップ」という単語が様々な場面で使われており、混乱も招くことから「ワークショップ形式」の「住民集会」を開催することとした。開催の告知は、チラシを作成し（図1）、自治会の協力も得て約3,000世帯へ全戸配布している。

毎回、咲っく南花台にまつわる情報提供をし、その後特定のテーマについて6～7人のグループに分かれて意見交換、テーブルワークを行っている。最後に、各テーブルでの意見交換の内容を発表し、参加者全員で情報共有をしている。約2時間の



図1. 住民集会のチラシ（2015年8月開催）



図2. ラジオ体操の様子

プログラムだが、非常に熱心な意見交換がなされ、毎回時間が足りない状況である。

2015年10月に「コノミヤテラス」が開設されて以降、住民集会開始の

表 1.WS の開催状況

日付	項目	内容
2014.10.26	第1回南花台〇まるまるWS	「健康とまちづくり」について意見交換
2014.11.25	第2回南花台〇まるまるWS	「南花台こうなったらいいな」について意見交換
2014.12.10	第3回南花台〇まるまるWS	「健康プログラムとまちづくり」について意見交換
2015.1.17	第4回南花台〇まるまるWS	「キャンパスタウン南花台」について意見交換
2015.2.22	第5回南花台〇まるまるWS	「南花台のすまいのこれから」について意見交換
2015.3.7	キックオフ・ミーティング	健康セミナーとタニタの健康メニューの体験
2015.4.25	第7回住民ワークショップ	モデル事業の愛称の検討、意見交換
2015.7.4	第1回南花台の未来を考える住民集会	みんなの拠点への要望や活用方法について意見交換①
2015.8.8	第2回南花台の未来を考える住民集会	みんなの拠点への要望や活用方法について意見交換②
2015.9.19	第3回南花台の未来を考える住民集会	みんなの拠点への要望や活用方法について意見交換③
2015.10.3	第4回南花台の未来を考える住民集会	みんなの拠点オープンと、具体的利用活動について意見交換
2015.11.21	第5回南花台の未来を考える住民集会	コノミヤテラス（みんなの拠点）を使ってみた報告と第2期整備について意見交換①
2015.12.5	第6回南花台の未来を考える住民集会	コノミヤテラスを使ってみた報告と第2期整備について意見交換②
2016.1.9	第7回南花台の未来を考える住民集会	第2期スペースを具体的に使う活動内容の検討と意見交換
2016.2.20	第8回南花台の未来を考える住民集会	
2016.3.12	咲っく南花台 ふりかえりだよ 全員集合	地域住民と共に、H27年度の取り組みを振り返るイベント

午前10時から参加者と共にラジオ体操をしている（図2）。体をほぐしてから住民集会は、さらに活発な意見交換がなされるようになった（図3、4、5、6）。

■参加者からの意見

2014年度に開催したWSで、南花台の良いところ・悪いところ・こうしたい！について沢山の意見をいただいた（図7）。2015年度は、愛称「咲っく南花台 わくわくプロジェクト」のアイディア出しに始まり、「コノミヤテラス」の活用内容について、具体的な活動のアイディア出しと、その具現化について意見をいただいた。2015年10月以降、アイディア



図 3. 住民集会での情報提供



図 5. テーブルワークの様子



図 4. テーブルワークの様子



図 6. テーブルワーク内容発表の様子

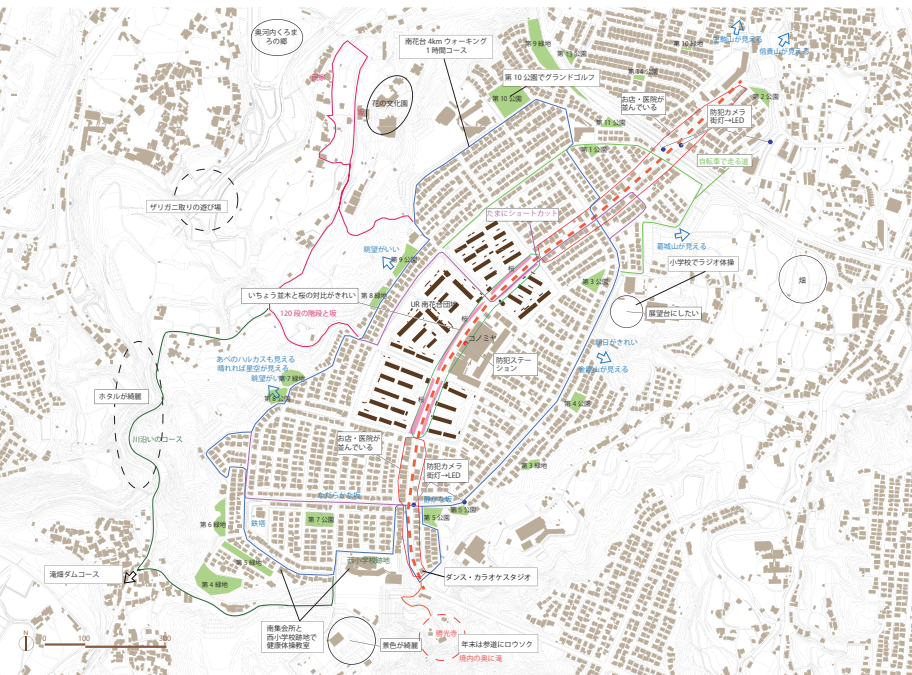


図 7. 南花台の良いところ・悪いところ・こうしたい！の意見をまとめたマップ

に基づき、具体的な活動を多く実施している。

■おわりに

幅広く地域住民の声を聞き、ニーズを発見する当初の目的は達成されており、地域住民の交流・意見交換

の場として毎月1回の開催が定着している（表1）。今後は、コノミヤテラスの活動の一つとして位置付け、地域住民主体の運営へ移行していきたい。また、参加者の年齢層を広げ、より幅広い年代の参加を得ると共に、世代間交流も進めていきたい。

関連リーフレット：157 158 159 160 186

『南花台での地域住民とのワークショップ
南花台〇〇まるまるワークショップ～南花台の未来を考える住民集会』

執筆：倉知 徹（関西大学先端科学技術推進機構）

本リーフレットは、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「集合住宅「団地」の再編（再生・更新）手法に関する技術開発研究（平成23年度～平成27年度）」によって作成された。

発行：2016年3月

関西大学
先端科学技術推進機構 地域再生センター
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号
先端科学技術推進機 4F 団地再編プロジェクト室
Tel : 06-6368-1111（内線：6720）
URL : <http://ksdp.jimbo.com>